

## 平成 25 年産 紀南の梅産地情報

2013/02/14

1. 南高の開花は、1月末から2月にかけて気温が上がり、開花始めから一気に満開を向かえた。南高の満開は2月6～7日で平年に比べると一週間程度早くなった。南高と授粉樹小梅との満開期はほぼ揃っているが、山間部ではこれから開花を迎える。



紀州田辺梅林は、50周年を迎え2月1日（金）から開園している。

(平地標準調査地 田辺市中三栖)

品種 \ 年	平成 (H15~24)	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	
小梅	開花始め	2/6~8	2/1~3	2/8~10	2/23~24	2/2~3
	満開期	2/15~18	2/11~14	2/20~22	3/1~3	2/7~8
	開花終期	2/24~26	2/25~27	3/4~7	3/7~9	
	開花期間	21日	27日	28日	16日	
古城	開花始め	2/15~17	2/9~11	2/21~23	2/27~28	2/7~8
	満開期	2/22~25	2/15~17	2/28~3/1	3/3~4	
	開花終期	3/3~5	3/1~2	3/11~13	3/12~13	
	開花期間	20日	22日	21日	16日	
南高	開花始め	2/5~7	1/31~2/2	2/8~10	2/23~24	2/2~3
	満開期	2/14~17	2/10~13	2/20~22	2/29~3/2	2/6~7
	開花終期	2/23~26	2/24~26	3/4~7	3/6~8	
	開花期間	22日	27日	28日	15日	
作柄		開花期の天候不順、凍霜害不作	低温、長雨、生育遅れ 平年作	開花期間短い 低温、降雨 不作		

2. 1月18日の着蕾調査結果によると、1枝当たりの着蕾数は全品種ともに前年に比べ多く、小梅・古城で平年並み、南高ではやや少なかった。

現時点では順調に生育しているものとする。

基準園の着蕾数（1枝当たりの平均着蕾数）

品種 \ 年	平成 25 年	平成 24 年	平年	前年比	平年比
小梅	395	312	372	127%	106%
古城	364	304	351	120%	104%
南高	312	276	350	113%	89%

3. 今年産の作柄は、開花から収穫期までの気象変化等により大きく左右されるため、現時点で具体的な予測はできない。